

一般会計補正予算に賛成!

市庁舎の免振改修工事中に発見されたアスベスト撤去作業の追加や、10月の台風被災世帯への災害援護金の貸付の費用などに1億500万円。また、市職員の人件費の精査にともなう追加に加え、ごみ処理などの台風被害への対応や今後の対策費用、通学路や保育園のお散歩コースの安全対策強化費用2200万円など、市民生活の安心・安全の向上に不可欠な予算が含まれているので賛成。

一方、オリンピック・パラリンピック関連事業費のうち、市独自のデザインによるのぼり旗などのPRグッズに計上された700万円については、一過性の機運醸成に終わるのではなく、平和やユニバーサルデザインなど、調布市として大切

にしていくべきレガシーをアピールすることを強く求めました。

議員の期末手当引き上げに反対!

特別職報酬(市長や議員の毎月のいわゆる給与)等審議会は今年度、議員報酬は現状のまま据え置くという答申を出しました。しかし、ボーナスにあたる期末手当を約3万円も上げる議案が出されました。

議会自らが議決をするのもおかしな話ですし、市民の間では、10月の消費税増税後、生活が厳しくなったという実感が強く、台風被災者の生活再建など優先すべき課題も抱えています。今のタイミングで議員の期末手当を引き上げることに市民の理解は得られないと反対しましたが、賛成多数で可決されました。



香害に関する意見書 賛成多数で可決!

柔軟仕上げ剤や芳香剤などに含まれる香料で健康被害を訴える人が増加しています。国に対して香料の成分表示の義務化などを検討するよう求める意見書を生活者ネットワークが提案し、説明など各会派に働きかけた結果、自民・維新以外すべて賛成で可決しました。対応が急がれます。



福島第一原発における処理水(トリチウム水)の処分方法について科学的根拠に基づき建設的な議論を求める意見書 <反対多数で否決>

トリチウムは除去が困難な放射性物質で、未だ分離技術は開発されていません。そもそもトリチウム水は汚染水である上、2018年には、基準値を超える他の放射性物質が含まれていたことが判明しました。意図的な放出は許されません。



多摩川の治水対策を求める意見書 全議員で提出!

多摩川の抜本的な治水対策を求める意見書を国と東京都に提出しました。国・都とも連携を組んで対策を進めます。



東京都での公立学校教員への「1年単位の变形労働時間制」導入をしないことを求める意見書 <反対多数で否決>

教員の労働のさらなる長時間化を招く制度であり、現在進められている働き方改革に逆行するものです。職務内容の見直しが先決です。



幼児教育・保育の無償化に伴う、認可保育園給食実費の徴収免除を求める陳情 <反対多数で不採択>

幼稚園の給食費は保護者負担。また、無償化の対象から外れた小規模保育所もあることから保育園のみ給食費を免除することは公平性に欠けると判断しました。幼児教育や保育への支援については、現状に即した法整備が早急に求められます。

下水道特別会計に
公営企業会計制度
導入

建設委員会報告

「調布市下水道事業の設置等に関する条例」の改正に賛成しました。下水道事業特別会計は、これまで一般会計と同様に、単式簿記で収支を出してまいりました。しかし、下水道管の老朽化が進む中、今後の下水道事業にかかる費用が大きな負担となっていくことは、明確です。この条例改正により、下水道事業特別会計に公営企業会計制度を導入することとなり、実施・設備のより正確な現状把握につなげ、将来の財政収支の見通しを立てて経営を形していきます。

